

山形



もとなりくんと伝説のスイカマン

山形県屋外広告美術協同組合 理事 三浦好昭
(有限会社泉デザイン工房)

私が生まれ育った尾花沢市は、花笠踊りの発祥地で、徳良湖の築堤の時にできたものです。(今年で百才の記念の年になります。)又、東北では、一番人口の少ない市(二万五千人)であり、この冬も二mを超えた豪雪の地で過疎化が激しいまちです。でも、自慢のものがあります。夏すいか日本一の尾花沢西瓜は、全国へ夏の贈り物としておいしいを発信しています。

今回は、私が大好きなこの尾花沢西瓜の話を書きます。根元に実った最初の西瓜は、大きくなると形が悪く、中に空洞ができて商品にならないというところで、摘果して捨てられる運命のこの西瓜は「元成西瓜」と呼ばれています。本当は、太陽と大地からの栄養いっぱいもらうので、「一番おいしい西瓜なのです。私は、三十年前に「形じゃないよ中身だよ!」と物語をつくり、「もとなりくん」と名付けて西瓜のキャラクターをつくりました。

最初は、Tシャツ、タオル、ステッカーとイベントで発表PRしながら、市内のいたる所に「もとなりくん」のキャラクターを使い、尾花沢に来た人には西瓜のまちをアピールしたのです。でも、それだけでは物足りず、着ぐるみを作りました。

そして遂に、TVチャンピオンの「ゆるキャラ王選手権」に出場する事ができ、全国放送によりゆるキャラ図鑑、雑誌、カレンダー等色んな所からオファーがあり、着ぐるみの出張が全国から問

い合わせがあり、図に乗って貸し出しするやボロボロになって帰ってくる「もとなりくん」を見て、丁度、二十才の時に motto 社会のために活動宣言すると、ゆるキャラ卒業を決めました。

「もとなりくん」は、世界の舞台で活躍する事になりました。実は、なでしこジャパン前監督佐々木則夫氏は、尾花沢出身で同級生だったので「なでしこ」を応援して来ました。五年前のカナダワールドカップは、連覇に向けての戦いであつたが、これが最後かもしれないのでカナダに応援にこないかとの事でした。

大会前の尾花沢に帰ってきた時の話、「監督!世界大会は、どんな応援をしているんだ?」と聞いてみたら、「三浦は西瓜だべ!」「え?俺は西瓜か?」私はこの一声で西瓜になろうと決めたのです。全身西瓜の衣裳を作り最後に胸には、「もとなりくん」のぬいぐるみを付けて「スイカマン」の完成です。

いよいよカナダバンクーバーに着き、ホテルで変身!タクシーで会場近くまで降りるや、外国人皆が指さして手を叩いて笑い、思わず俺も笑ってしまった。そしたら笑った奴らが一緒に写真を撮ってくれと寄ってくるのである。

ようやくスタジアムに入るも、「スイカマン」のような人は、誰一人いないので二番目立つのであつた。極めつけは、空中にワイヤーが何本も張られていてカメラがすごい早さで動いているのである。遂にやって来た「スイカマン」の前でピ



タツと止ま ったのである。このカメラも俺を見て 笑っているのだらう。俺は、めいっばい手を振り、日本国旗を振りアピールしたのだ。すると、ブラジル、ヨーロッパの応援団が寄ってきては、握手をして写真撮りだ。これも国際交流で良いのだが、「スイカマン」効果は、サッカー以上に盛り上がった。

日本に帰って来てからは、負けたら終わりの決勝トーナメント。尾花沢市では、毎回朝方パブリックビューイングで大応援。全局のカメラマン、新聞記者が大勢取材。やっぱり「スイカマン」と「守護神もとなりくん」がいつも一緒になっていた。

遂に決勝戦「アメリカ」との戦いである。俺はいつも一番早く来て応援の準備をするのである。横断幕、応援旗、太鼓をおろし、トイレで「スイカマン」に変身!ところが、「守護神もとなりくん」が見つからない。どこにやったの、忘れたのか、いつもと違う空気を感じた。もう時間がない、とりあえず俺だけで...と応援に臨んだが、試合早々「なでしこ」は3点たて続けにとられてしまった。結局負けたのである。俺の動揺がまんま当たってしまった。ただ「もとなり伝説」はまだ続く。

「もとなりくん」は、今最初に話をした徳良湖にあるスイカカフェに次の出番を待っている。ここには、徳良湖ヨッククラブや全日本すいか割り選手権大会の会場でもあ

る。ぜひ、夏には遊びに来て下さい。最後に、大戸地区連会長と新庄で初めて会った時、「実は祖父は尾花沢の生まれなんだ。」と言われびっくり。運命を感じた。



<http://www.c-daiwa.co.jp>
株式会社 クリエイティブダイワ

事務局便り

去年は本当に雪が少なく過ぎやすかったのですが、今年も雪が少ないことを願っていたのですが、今年は雪が多くてそう思い通りにはいきませんね!
コロナの影響で、ほとんどの行事は中止!...

去年は唯一行事として行ったのは、今後のタウンミーティングについて話し合いました。早くコロナがおさまり、通常通りの生活に戻れることを願うばかりです。

どうなるかわかりませんが、私としては元気をもらえそうなオリンピックが見たいです。今年もよろしくお願いします。

事務局員 中川 順子